

■第5回 100人アンケート

- ・回答者数 77名
- ・性別 女性 51名(66.2%)、男性 26人(33.8%)
- ・年代 20歳代 2名(2.6%)、30歳代 3名(3.9%)、40歳代 7名(9.1%)、50歳代 16名(20.8%)、60歳代 18名(23.4%)、70歳以上 31名(40.2%)

ここ数年、温暖化による気候変動の影響が顕著に現れ、大規模な災害が多発しています。二酸化炭素(CO2)の排出削減は必須です。最大の問題はエネルギー源を何処に求めるかですが、CO2削減となると原発再稼働が取りざたされます。

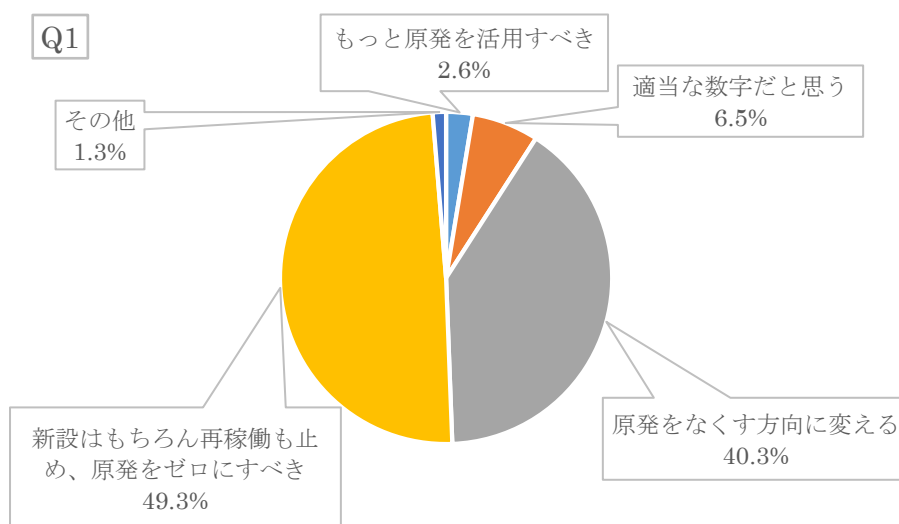
広島県高等裁判所は1月17日、四国電力伊方原発3号機(愛媛県)の運転差し止めの仮処分申し立てに対し、運転してはならないとの決定をしました。政府は2030年までに総発電量に占める原発の比率を20~22%にする計画を掲げています。

今回は、原子力発電について伺います

Q1. 2030年までに総発電量に占める原発の比率を20~22%にする目標について、あなたはどのように思いますか。(2018年度の原発依存率は3.1%です)

(n=77)

項目	数	%
もっと原発を活用すべき	2	2.6
適当な数字だと思う	5	6.5
原発をなくす方向に変える	31	40.3
新設はもちろん再稼働も止め、原発をゼロにすべき	38	49.3
その他	1	1.3



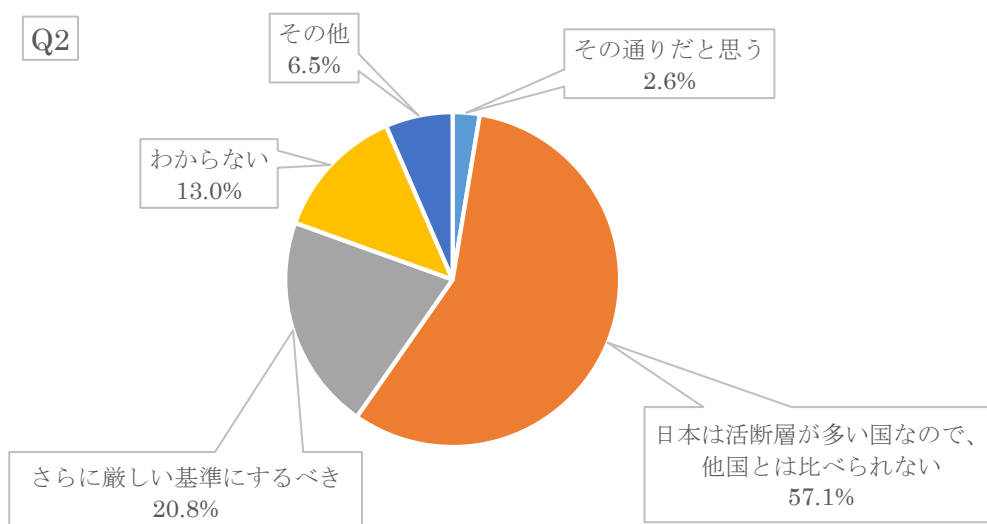
「原発をなくす方向に変える」と「新設はもちろん再稼働も止め、原発をゼロにすべき」を合わせると約9割になります。圧倒的多数の人が原子力発電に反対の意向を示しています。

政府は原発の発電コストは安いといってきましたが、東京電力福島第一原発の事故処理費、当初想定との2~5倍に膨らむテロ対策施設の設置費など、原発全体の費用がどうなるのか見通しがつかなくなってきました。原発政策を改めて検討することを政府に求めていきたいと思ひます。

Q2. 日本政府は原子力規制委員会が定めた規制基準は世界一と言っていますが、あなたはどのように思いますか。

(n=77)

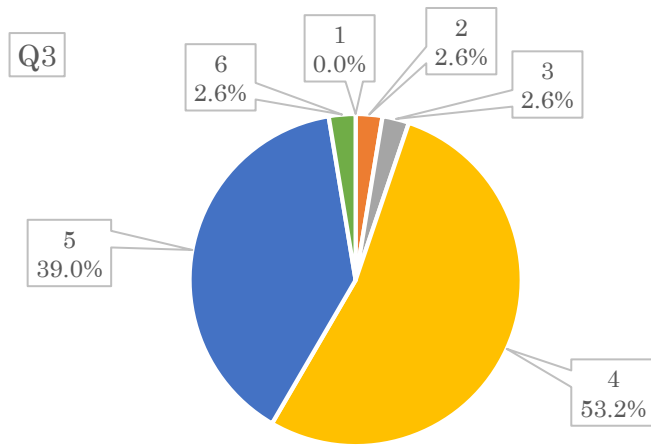
項目	数	%
その通りだと思う	2	2.6
日本は活断層が多い国なので、他国とは比べられない	44	57.1
さらに厳しい基準にするべき	16	20.8
わからない	10	13.0
その他	5	6.5



政府が世界一の基準だと言っても、約 2 割の人が「さらに厳しい基準にするべき」と回答しています。さらに半分以上の人が「日本は活断層が多い国なので、他国とは比べられない」と考えています。さらに厳しい基準にしても、活断層が多い地震国日本に原子力発電所を設置するはリスク大きく、他国とは比べものにならないと考えている人が圧倒的に多いことが分かります。一方、「わからない」、「その他」と回答した人も約 2 割います。規制基準に沿って原発の再稼働が次々と進められている今、原発に関しての情報開示と国民に分かりやすい説明が必要だと考えます。

Q3. 2015 年のパリ協定で、CO2 排出量を抑制するための「温室効果ガス削減・抑制目標」を定めることが求められている中、CO2 を排出しない原発を推進する意見があります。あなたの考えに一番近いのはどれですか。

1 位は、「技術革新により CO2 を排出しないエネルギー源を創出する」で半分以上の人が回答。続いて 2 位は、「政府、官僚、企業のトップの考えを変えない限り、日本は石炭と原発を使い続けるだろう」で 4 割弱の人が回答しています。日本のエネルギー政策は、政治的な意向が強いと感じている人が多いけれど、多くの人は何とか技術革新によって新しいエネルギー源を創出してほしいとの希望を持っていることが分かります。各国の技術者が連携を取りながら、より良い地球環境を創って欲しいものです。



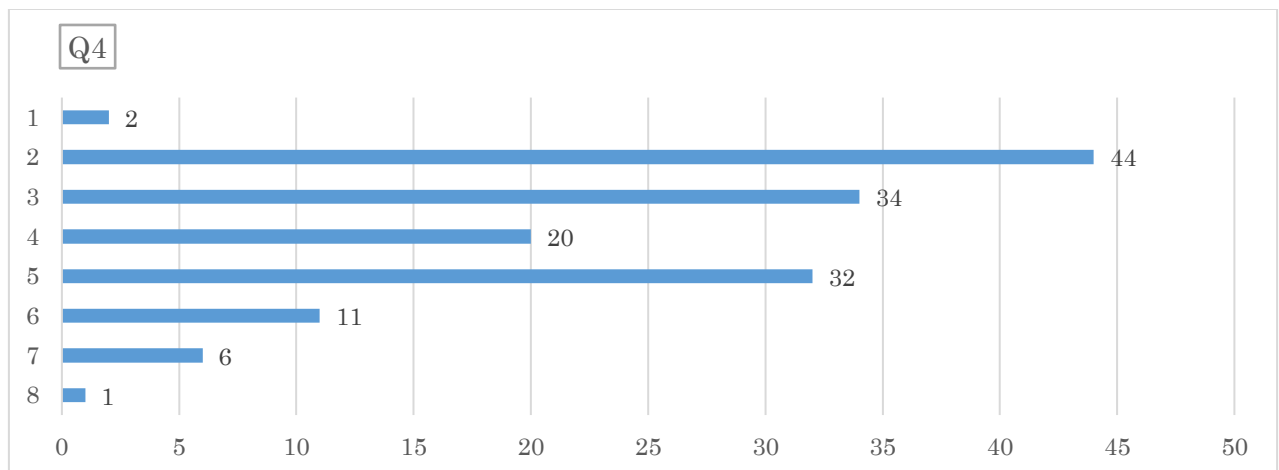
1. 気候変動の対策としては、当然のこと
2. 石炭のエネルギーより原発の方がクリーンで良いと思う
3. 原発事故を考えると、CO2を排出しても石炭によるエネルギーの方が良い
4. 技術革新によりCO2を排出しないエネルギー源を創出する
5. 政府、官僚、企業のトップの考えを変えない限り、日本は石炭と原発を使い続けるだろう
6. その他

Q4. エネルギーと原子力発電の今後について、あなたはどのように思いますか(2つまで選択可)。

エネルギーと原子力発電の今後について、2つまで選んでいただきました。

約6割の人が「再生可能エネルギーを着実に増やしていく」を選んでいました。続いて、「廃棄物の処理ができない原発はやめるべき」と「事故の処理、保障など被害を考えると原発は安いクリーンなエネルギーではないことをきちんと国民に知らせる」がそれぞれ4割台の人が回答しています。

一方、1割以上の人が「どのエネルギーが適正なのか分からない」と回答。エネルギー政策について、まだまだ議論が必要です。私たちがどんな社会を求めているのか、ドンドン意見を表明していきましょう。



1. 原子力発電は新設・再稼動を含め推進する
2. 再生可能エネルギーを着実に増やしていく
3. 廃棄物の処理ができない原発はやめるべき
4. 持続可能な社会を目指すために国民が議論する必要がある
5. 事故の処理、保障など被害を考えると原発は安いクリーンなエネルギーではないことをきちんと国民に知らせる
6. 地震国日本に原発はいらない
7. どのエネルギーが適正なのか分からない
8. その他

以上